

## 令和7年度(後期) 年中 「砂あそび 土あそび」

普段の砂あそびに加え、定期的に搬入されてできた砂山での砂あそびを楽しんできた子どもたち。後期になり、午前に行っていたことを午後もやりたい、次の日もやりたいなどという子どもたちの声が聞こえ、あそびが継続するようになってきました。また、砂だけでなく「土」という素材を取り入れ、その違いや感触を味わいながらあそびを広げていく姿が見られました。



砂山が柔らかく登りにくく感じたようで「階段つくろう！」という話になりました。コテを使って平らにしたり、水加減を調節しながら足場を固めていったりしながら、丁寧に作っていました。



砂山からただ水を流すだけでなく、「ここをまげてみよう！」「ここに水が溜まるようにしよう！」などの意見が出て、どんどんウォータースライダーが複雑になっていきました。



バケツに砂を入れたものをひっくり返し、複数になってくると、「迷路みたい！」という話になり、みんなで協力して「100個作ろう！」と楽しんでいました。



土の入ったコンテナに水やお湯を入れて混ぜると、「トロトロ〜」「気持ちいい〜」「絵具みたい！」など、水分量で変わる感触を楽しんでいました。



とうきょう  
すくわく  
カグラム  
こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん



子どもたちの「絵具みたい！」という声から、紙に手形をしてみることに！紙に手形をした後は、木の幹や遊具にも泥を塗って遊びました。



泥団子を作るために必要な“サラサラな土”を作るために、固まった土をすり鉢ですったり、ふるいにかけたりしました。  
※泥団子を作るのに、どんな土がよいのか。子どもたちと色々試しながら、何個も泥団子を作りました。